

# 非正規切りなどで職を失った人の救済を

## 世界の中でも遅れた日本の失業給付の延長を

非正規で働いている人は簡単に解雇される現実があり、解雇されればその日の食べるもの、寝る場所に困る人が大勢います。そうした中で、失業給付を受けていない人が日本は77%で先進国のなかで突出した数字です。世界の中でも失業給付期間が短いためにこのような事態があり、緊急延長が必要になっています。現在、国の雇用保険特別会計が4兆8千億円程度残っています。

私が政府に失業給付の延長を要請してほしいと質すと市長は、「共産党は何かと国に要請しろというが、簡単なことではない」と消極的な答弁でした。

### 生活保護給付への 国の援助要請を

生活保護の申請は抑えられる傾向にあります。これは、現在の景気悪化により申請者が増加し、対応する職員の負担増、自治体の財政負担増が背景にあります。私は市として国に生活保護給付の財政負担を求めていくべきではないかと質しました。市長はここでも「簡単に国に要請しろというが、そのようなことは考えていない」とまともに取り合おうとはしませんでした。



### 中橋に面する道路の 歩道の改善を



仏子と野田にまたがる中橋の特に野田側、西部公民館に向かいカーブする歩道が急傾斜になっており大変危険です。また、南側の道路は歩道がありません。

私は自ら車イスに乗り通行してみたときの実感を語りつつ、歩道の改修、設置を建設部長に求めました。

「北側は県と交渉したが許可は下りていない。南側はこれまでも何回か一般質問で取り上げられたが住宅に面した部分なので歩道を設置することは難しい」との答えに改善の努力を要請しました。

### 小出わたるの連絡先 どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4  
電話 04 (2932) 7884  
携帯 090 (6542) 3883

# 日本共産党 小出わたるの 市議会つうしん



No. **3**  
2010. 1月

- 12月議会・私の一般質問
  - ◇入間市における解雇状況の調査を
  - ◇国に対して市への援助を求めるべき
  - ◇安心できる道路行政を（4ページ）
  - ◇中橋に面する歩道の改善

## 雇用の安定を 安心して働ける入間市に 非正規労働者を正規労働者に

現在、「非正規労働者」の失業増が国民的な大問題となっています。それが自分たちの娘や息子たちの問題であり、自らの将来にかかわる問題であって、そこには今日の経済危機のもとで国民が直面している問題がきわめて凝縮された形で示されているからだと思います。

入間市でも昨年度末に500人を超える非正規労働者が仕事を失っています。

### 入間市における 解雇状況の調査を

私は、入間市における非正規労働者の解雇の現状、解雇の予想、入間市に与える影響について市長に質問しました。

市長は「今年に関しては、調査していない。よい影響は与えないと考える」とそれほど問題を深刻に捉えている様子がありませんでした。

「早急に調査する必要があるのではないかと質すと「企業の側が答えづらく難しい」と消極的な姿勢に終始しました。

### 失業給付の延長を 国に要望すべき

非正規の労働者の多くは年収が200万円以下のワーキングプアです。

労働者の所得が低ければ経済は温まらず、現在のデフレは進行し景気の回復は望めません。

非正規の人たちを正規にしていくことが景気回復に不可欠です。

私は市がイニシアチブをとり非正規の労働者を正規にしていくように企業に求めていくべきではないかと質すと市長は「強制はできない。要望はしている」とこたえるにとどまりました。（4ページに続く）

# 65歳以上の新規取得者切り捨て 12月定例市議会

## 障害者の福祉手当までも削減

12月議会には、条例、補正予算など20議案が提出され、全て可決・成立しました。

### 6000円の手当を年齢で差別

条例改正では、重度心身障害者福祉手当の一部改正が提出されました。

月額6000円の福祉手当について、精神障害者や超重度心身障害児に支給が拡大されるものの、それと一体に65歳以上の新規障害者手帳取得者には、この手当を支給しない内容です。

### 「福祉の切り捨て」に反対

共産党は、「高齢者は公的年金等控除の縮小など、相次ぐ税制改正で負担増を強いられている。今回、新たな65歳以上の人を切り捨てることは、高齢者にさらなる追い打ちをかけるもの。昨年度8億5千万円の黒字決算という市財政からも、財政難を理由に福祉を切り捨てることは認められない」と反対討論を行いました。

日本共産党以外の他会派の賛成多数で、重度心身障害者福祉手当の条例改正は可決されました。



### 「人間高校存続を求める意見書」は他会派の反対で実らず

共産党は、「人間高校の存続を求める意見書」の提案を行いました。

県は高校再編計画の一環として、人間高校と豊岡高校を統廃合する計画を提示。人間高校の生徒募集は、今年度が最後となります。人間高校に進学する生徒の半数は市内中学校の生徒で、地域にとってなくてはならない高校です。

憲法26条に教育を受ける権利が明記されており、希望する全ての子どもたちに高校教育を保障するべきです。

しかし、他会派の賛成が得られず、意見書の提出は実現しませんでした。

### 56条廃止の請願実らず

今議会に、2402名の署名とともに入間民主商工会から提出された請願は、共産党以外の会派の賛同を得られず、採択に至りませんでした。

請願の内容は、中小業者で働く家族従事者の給与を必要経費として認めない「所得税法56条」の廃止を要請し、国に意見書の提出を求めるものです。

小金井市をはじめ130議会で決議・意見書が提出されています。今回の不採択は、税金の申告者の55%を占める白色申告者の期待に背を向け、基本的人権、男女平等に反するものです。

### 共産党議員の一般質問

吉沢かつら議員

貧困対策・新型インフルエンザ対策

石田よしお議員

八ッ場ダム問題・道路補修

安道よし子議員

人間高校存続・武蔵藤沢駅渋滞対策

小出わたる議員

雇用対策・中橋付近歩道設置

### 一般会計・国保・高齢者医療・狭山台の20年度決算に反対

12月議会初日に、20年度決算の討論・採決が行われました。

共産党は、一般会計について、景気悪化のなか、構造改革路線を受け入れ、市民への負担増を続け、職員数の削減などを行う行財政改革プラン、学童保育料の引き上げを行ったことに反対しました。

国民健康保険では、全国的に問題になっている保険証の引き上げを続けているこ

と、保険税の年金天引きに反対しました。

後期高齢者医療については、75歳以上の高齢者に差別医療と負担増を強いる制度は、直ちに廃止すべきと主張しました。

狭山台土地区画整理事業については、市民生活が厳しさを増すなかで、一部の事業に莫大な税金を投入するよりも、市民の暮らしに予算をまわすべきとして、この事業にも反対しました。

### 日本共産党市議会報告

2010年1月

発行/日本共産党入間市議会議員団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883